

『多元文化』 投稿規定

1. 内容：国際言語文化に関する未発表の研究論文。単著論文に限る。すでに口頭で発表し、その旨明記してあるものは審査対象となる。
2. 投稿資格者：(1) 国際言語文化研究科教官、(2) 国際言語文化研究科国際多元文化専攻大学院生、(3) 同修了生。
3. 言語：日本語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮韓国語のいずれかとする。これ以外の言語での投稿を希望する場合は、編集委員に相談すること。
4. 枚数：日本語、中国語、朝鮮・韓国語の場合はA4 版用紙を用い、12,000 字（400x30）程度とする（注、文献を含む）。英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語の場合は、A4 版用紙にスペースを含めて文字数 6,500 語程度とする。横書き。
5. 体裁：注は本文の終わりにまとめること。（自動脚注及び文末脚注機能を使わないこと。）
6. 提出部数：論文は4部（コピー可）を提出すること。採用の場合は、フロッピー・ディスクも提出すること。原稿及びフロッピーは返却しない。
7. 提出先：編集委員。
8. 締切：9月末日。
9. 注意事項
 - (1) 論文が採用された場合、必ずフロッピー・ディスクを提出すること。ディスクにはラベルを貼り、名前と論文のタイトルを明記すること。
 - (2) ファイルは必ずMSWordで作成すること。
 - (3) 和文論文では、コンマ（,）ではなく、読点（、）を使用すること。また、和文論文中の数字と英字はすべて半角を用いること。
 - (4) 論文が採用された場合、論文の版下作成は原則として執筆者が行う。
 - (5) 版下作成の際、内容の修正は認められない。
 - (6) 採用された論文は、印刷版とは別にオンライン化する。

編集後記

今回の『多元文化』第5号への投稿は29篇、そのうち審査を通過した22篇の論文を掲載しております。今までにもまして多くの投稿が得られたことは、研究成果発表の場としての『多元文化』の定着とも受けとれ、編集委員一同大いに喜んでおります。とてもお忙しい時期に投稿論文の綿密な査読をしていただいた先生方に心からお礼申し上げます。

さて、以前から『多元文化』編集の最たる問題の一つであり、さらには日常生活では現実化する「多文化状況」がなかなか浸透しない分野として名高いものに・・・「パソコン」があります。世界と瞬時の通信を可能とするインターネット時代になにやら逆説的ですが、いやいや、情報化と多言語化はなかなかセットでは進行しないようです。複数の言語が混在する原稿を同じアプリケーションに打ち出し、一つ一つ編集する作業をご想像下さい。編集委員の一人「Iさん」が、恐ろしいストレスに悩まされながら続けている作業です。二言語共存下での文字化けはご存じの方も多いと思いますが、ここでは「複数言語化け」について編集作業を行うわけです。

しかしそもそも、文字が「化ける」とは一体何事でしょうか。「オリジナル言語の通りに変換できませんでした」という通知もなく、こそりと別な記号に姿を変える、その下劣さもさることながら、しかも変わり方に夢がないというか芸がない。漢字・数字や Σ だの Ω だのに変わるだけでなく、たまにはあつと驚く言語にでも変わって見たらどうだ、と思うのは筆者だけでしょうか。文字化けが、ある時には「ヘブライ語文字化け」、ある時には「エジプト象形文字化け」などということになったら、恐らく文字化け発見の作業も少しは楽しい夢のあるものに・・・は必ずしもならないかもしれませんがね、Iさん（失礼しました）。

(T)

執筆者一覧

天野 修一	国際言語文化研究科国際多元文化専攻修了
加藤 博子	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D1
高橋 典子	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D1
高 箭	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
井上 誠一	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D1
Wong Ngan Ling	国際言語文化研究科国際多元文化専攻修了
胡 蓉	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
辻 美奈子	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D2
楊 紅雲	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D2
ロン スチュワート	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
河尻 和也	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
許 征	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D2
金 賢珍	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D2
金 世晶	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D1
晩和何 岷胆	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D2
寇 振鋒	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D2
顧 蕾	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
鄭 芝淑	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
西 暢子	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
ハス額尔敦	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D1
陳 玲玲	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D3
丸尾 誠	国際言語文化研究科国際多元文化専攻助教授

表紙デザイン

野畑 実芳	国際言語文化研究科国際多元文化専攻 D1
-------	----------------------

編集委員

長畑明利、鶴巻泉子、丸尾誠、今井田亜弓

『多元文化』 第5号

2005年3月発行

編集兼発行 名古屋大学国際言語文化研究科国際多元文化専攻

代表者 松本 伊瑛子

連絡先 名古屋大学国際言語文化研究科国際多元文化専攻

『多元文化』編集委員会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL/FAX (052) 789-5701

Email: imaida@lang.nagoya-u.ac.jp

Website

<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/bugai/kokugen/tagen/>

印刷所 中部日本教育文化会

〒465-0087 名古屋市名東区名東本町177番

TEL (052) 782-2323 (代表) FAX (052) 782-8172

Multicultural Studies, No. 5 (March 2005)

Edited, published and distributed by the Department of Multicultural Studies, the Graduate School of Languages and Cultures, Nagoya University

Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, Japan

ISSN 1346-3462